

報告第29号

地方独立行政法人桑名市総合医療センター第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務実績に関する評価結果の報告について

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務実績に関する評価結果について地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第5項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和5年12月6日提出

桑名市長 伊藤 徳 宇

地方独立行政法人桑名市総合医療センター第3期
中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の
期間における業務実績に関する評価結果

令和5年 10月

桑名市長 伊藤 徳宇

評価の方法

地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）の、第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間の業務の実績に関して、法人から提出された業務実績報告書（見込）をもとに、地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会から、評価に対する意見を聴取した。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価と地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会の評価に対する意見を基に、当該期間における中期目標の達成状況について大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、総合的な評価を行った。

I 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

当該期間のうち令和元事業年度から令和4事業年度までの各大項目評価はA、小項目評価の平均点は3.5であり、第3期中期目標期間の法人の自己評価もAであった。また、以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、A評価（中期目標を達成する見込）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

- ・新型コロナウイルス感染症の対応に尽力しながらも、紹介率・逆紹介率の向上や医師の確保について継続的に努力している。
- ・脳血管障害、循環器疾患などについて新入院患者数はコロナ禍で一時的に落ち込んだものの、令和5年度見込値では回復させて、平成30年の実績値を上回っている。
- ・計画値が設定されている項目については、全体的にほぼ増加、上昇している。

第2 業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

当該期間のうち令和元事業年度から令和4事業年度までの各大項目評価はB、小項目評価の平均点は3.0であり、第3期中期目標期間の法人の自己評価もBであった。また、以下のことを考慮し、「業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（中期目標をおおむね達成する見込み）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

- ・ 人員配置について大変努力されている。
- ・ 研修医、専攻医の受入れも着実に増加させている。
- ・ 経営面については新型コロナウイルス感染症の影響や、光熱費高騰、円安等の問題があり、桑名市総合医療センターに限らずどこの医療機関も厳しい状況にありやむを得ない。
- ・ 今後は一般患者の獲得に力を入れ、収益を上げていてもらいたい。
- ・ 給与費対医業収益比率については、中期計画において高い計画値が設定されているが、実績値・見込値においては、合格点といえる。

II 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の第3期中期目標期間終了時に見込まれる中期目標期間における業務実績については、2つの大項目評価のうち「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」はA評価、また「業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」についてはB評価であった、全体としてはA評価で、中期目標を達成する見込みと評価した。

2 評価に当たっての意見、指摘等

- ・ 第3期中期目標期間においては、約3年半にわたり新型コロナウイルス感染症への対応があったため、これを考慮して評価すべきである。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の対応について、桑員地域における桑名市総合医療センターが果たした役割は非常に大きいものであった。職員の貢献を高く評価する。
- ・ 令和5年度見込値から、地域の中核病院として市民に対して提供するサービスも向上し地域への貢献度も高まっていると思われるが、財務数値の改善及び業務の効率化については引き続き取り組みが必要である。

